

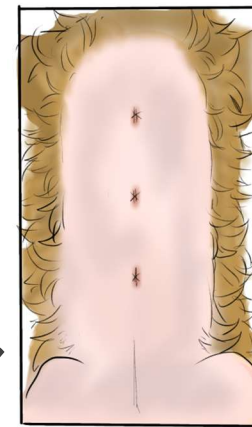
傷の小さな避妊手術

腹腔鏡手術とは

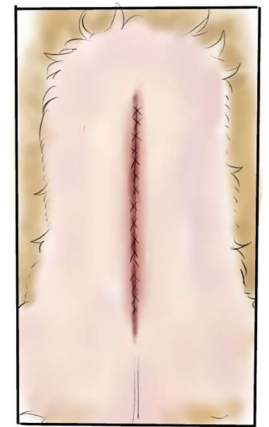
5ミリ程度の穴を、2から3箇所開けて手術をします。

開腹手術と比較して腹腔鏡手術では傷口が極めて小さく、動物が感じる痛みは非常に軽減されます。

そのため、日帰り手術が可能です。



腹腔鏡手術



開腹手術



腹腔鏡のメリット



- ・傷が小さい
- ・痛みが少ない
- ・原則日帰り
- ・術野を拡大して見ることができる

腹腔鏡のデメリット



- ・特殊な器具や技術が必要
- ・手術時間が多少長くなる
- ・腹腔鏡手術特有の合併症の可能性がある

腹腔鏡の合併症

【気腹によるもの】

- ・皮下気腫
- ・空気塞栓
- ・炭酸ガス血症

【手技によるもの】

- ・周囲臓器損傷
- ・出血（止血がしにくい）

腹腔鏡を用いた避妊手術の手順



腹腔鏡手術の手順

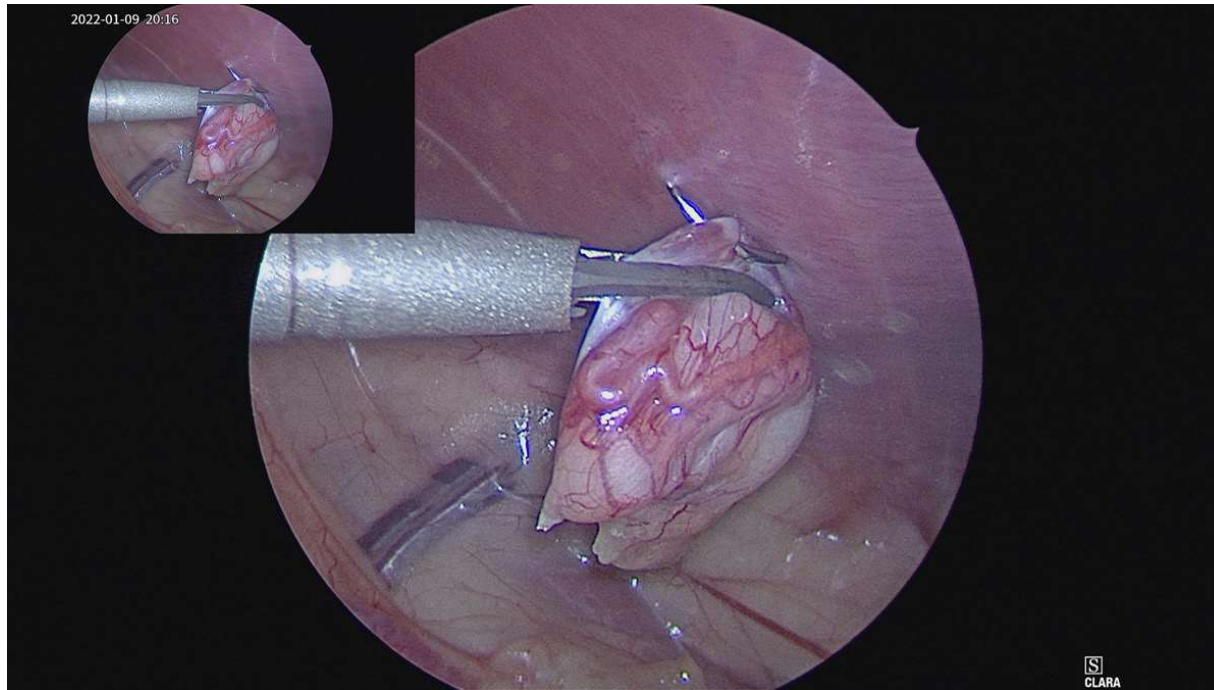
トロツカーの設置

カメラや器具の入口となる「トロツカー」を設置します。



腹腔鏡手術の手順

血管シーリング装置で卵巣を摘出します。



腹腔鏡手術の手順

傷口の縫合

傷口を縫合して治療終了です。



当院の手術実績



当院の手術実績



当院の手術実績

腹腔鏡による避妊手術は、
すべて院長の北村が執刀しております。

2023年の1年間で、
148件の犬避妊手術を実施しました。

